

燃えない・燃え広がらないまちをめざして

北砂三・四・五丁目地区まちづくりニュース



第15号
平成30年7月

- ・第7回まちづくり協議会を開催しました …P.1
- ・今年度の進め方 …P.2
- ・芝浦工業大学との連携について …P.3
- ・まちづくりの進捗状況について …P.4

発行：北砂三・四・五丁目地区まちづくり協議会

第7回まちづくり協議会を開催しました

平成30年5月30日（水）に、砂町文化センターで、今年度初回となる第7回まちづくり協議会を開催しました。

初めに、事務局から今年度の協議会の進め方について説明があり、協議会の下部組織として今年度から「住環境部会」「商店街部会」「防災活動部会」の3つの部会を設置して、各部会で課題に応じた詳細な検討を進めることを確認しました（P2参照）。

また、今後、「まちづくり協議会」「住環境部会」「商店街部会」にまちづくりの専門アドバイザーとしてご参加いただく芝浦工業大学の志村教授より「まちづくりと密集市街地の改善」について講演があり、その後意見交換を行いました（P3参照）。

最後に、江東区から、まちづくりの進捗状況について報告があり、現在作成中の「まちづくり方針」や今後導入を検討している建替え等のまちづくりルールとなる「地区計画」について説明がありました（P4参照）。

【第7回まちづくり協議会 次第】

1. 開会
2. 今年度の進め方
 - ・検討体制、取組事項
 - ・部会会員の募集
 - ・平成30年度のスケジュール
3. 芝浦工業大学との連携について
4. まちづくりの進捗状況について
 - ・まちづくり方針
 - ・平成30年度のスケジュール
 - ・地区計画の導入に向けて
5. その他
6. 閉会

意見交換の様子



今年度の進め方

部会は、地区内のまちづくりに関する課題に応じて、具体的な検討を行うために設置する協議会の下部組織です。まちづくり協議会は、各部会の総括とともに、協議会全体の活動方針・行動計画の確認、江東区が行うまちづくりに関する協議・提案を行っていきます。

各部会の検討・取組事項に関係する方々にも参加いただき、より活発な議論と具体的な検討を行うため、「商店街部会」では協議会会員以外からもメンバーを募集します（P4参照）。

今年度は、「まちづくり協議会」を2回、「視察会」を1回、「住環境部会」を2回、「商店街部会」を3回、「防災活動部会」を1回開催する予定です。「商店街部会」と「防災活動部会」では、部会以外のイベントも実施する予定です。（下図スケジュール参照）

各部会での議論や検討内容は、今後のまちづくりニュースで随時お知らせしていきます。

<検討体制・取組事項>

まちづくり協議会

【協議会の役割・協議内容】

- ①協議会の活動方針、行動計画
- ②江東区が行う道路・公園事業、地区計画等に関する協議、提案
- ③その他、各部会活動の総括等

		住環境部会 【地区全体】	商店街部会 【砂銀沿道等】	防災活動部会
検討・取組事項	空間形成・まちづくりルール（地区計画・無電柱化等）	・住宅市街地のまちなみ空間のあり方検討（防災性向上・景観形成）	・商店街空間のあり方検討（防災性向上・景観形成）	
	にぎわい・エリアブランド創出	・散策マップ・道路公園等ネーミング ・情報発信・イベント実施等方針検討	・商店街マップ ・情報発信・イベント実施等方針検討	
	コミュニティ・まちづくり活動	・地域連携（医療・福祉等）方策検討	・地域連携（テナント交流等）方策検討	・防災マップ作成・共有 ・防災訓練（団地連携）
参加者	部会会員	まちづくり協議会会員	まちづくり協議会会員（有志）	まちづくり協議会会員
		その他メンバー	・商店街沿道権利者・テナント等	・町会防災部長 ・北五団地自治会
	専門アドバイザー	・大学教授等	・大学教授等	

<平成30年度のスケジュール(予定)>

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
協議会		● 第7回 (5/30水)									● 第8回 (2月)	
視察会							● (10月)					
専門部会	住環境部会			● 第1回 (6/27水)					● 第2回 (12月)			
	商店街部会			● 第1回 (7月)		★ 模型展示イベント (9月)	★ まち歩き (9月)	● 第2回 (10月)		● 第3回 (1月)		
	防災活動部会					● 第1回 (9月)		★ (11月) 防災訓練試行				

芝浦工業大学との連携について

今回は、芝浦工業大学建築学部で住民参加型のまちづくりを専門としている志村秀明教授から、『まちづくりと密集市街地の改善』をテーマに講演をしていただきました。

講演では、志村教授が江東区内で関わっているまちづくりのほか、密集市街地における改善型まちづくりについて、その事例や方法をご紹介いただきました。

また、まちづくりのイメージとシナリオを共有するための方法として、ガリバー地図（まちの魅力や問題点を大きな地図に書き込むもの）や模型を使ったワークショップ（デザインゲーム）などの提案をしていただきました。

今年度は、まちづくりの専門アドバイザーとして志村教授からの助言を仰ぎながら議論や検討を進めていきます。特に「商店街部会」では、志村研究室の学生にも参加してもらい、提案いただいたまちづくりの方法を用いて活発な議論を行う予定です。

志村教授の講演の様子



意見交換の様子



<講演に関する主な意見・質問と回答・コメント>

主な意見・質問	回答・コメント
他地区の事例の紹介があったが、まちづくりはどのくらいの時間軸で考えるものなのか。	一般的にまちづくりには長い時間がかかるが、数十年単位で見るときちゃんと進んでいる。下地となる計画をつくって、少しずつ着実に進めることが重要。
協議会の活動を、地元の人たちにもっと広めて、まちづくりの活動に協力してほしい。	模型はまちのイメージを共有しやすいので、情報発信には効果的。例えば、砂町文化センターや砂町銀座商店街で、模型を使ってまちがどう変わっていくのかを見せることができれば、かなり注目を集められるだろう。粘り強く、活動を続けることが大事。
地区内に実際に何かつくることができれば、それを見てもらうことで、まちづくりに対する理解が進むと思う。	北砂はまちづくりが始まったばかりでまだ目に見える形はないが、この地区は江東区が力を入れて取り組んでいるので、いずれは実現していくだろう。
一部の地権者の協力が得られないために、まちづくりが進まないこともあるのではないか。	地権者には様々な考えの人がいるので、すぐ合意を得るのは難しい。根気強くワークショップやイベントなどを続けて、徐々に地元の人たちの機運を高めていく必要がある。
学生が作った商店街のマップを見せてもらったが、何か地区全体をよくするためのアイデアはあるか。	現在学生が作業中のマップには、商店街を歩いて感じた店舗の印象や魅力などをまとめている。今後、商店街を中心にしっかりと情報を把握して、緻密に検討していきたい。

まちづくりの進捗状況について

昨年9月にまちづくり協議会から江東区に提出した「まちづくり提案」を受けて、江東区では地区のまちづくりの取組みを進める指針となる「まちづくり方針」の策定作業が進められています。

江東区から、今年4月に行われた「まちづくり方針（素案）」に対する意見の募集と個別説明会において、提出された意見とそれに対する区の考えについて説明がありました。

（詳細は、江東区からのお知らせ第3号をご参照ください。）

まちづくり方針の策定後は、方針に基づく道路・公園等の基盤整備や建替え等のまちづくりのルールとなる地区計画策定、コミュニティ・まちの活性化に向けた取組みなど、具体的なまちづくりが進んでいきます。今年度は、検討の基礎調査となる道路等の測量や、まちづくりルール（地区計画）に関するアンケート・説明会が行われます。

協議会では提案したまちの将来像の実現に向けて、この地区のまちづくりが着実に進んでいくことを期待しています。また、今後も江東区とのまちづくりに関する協議や提案を継続していきます。

〈まちづくり方針（素案）に対する意見の募集結果〉

募集期間：4月2日（月）～4月27日（金）

	意見の件数		意見者の人数	
	方針に関する意見	全体意見	件数	人数
意見の募集	21	22	8	9
個別説明会	22	28	13	18
合計	43	50	21	27

まちづくり方針に対する意見の紹介の様子



商店街部会の会員を募集しています！

まちづくり協議会では、今年度の7月より砂町銀座商店街の「防災性向上」と「さらなる活性化」を目指し、『商店街部会の活動』を始めます。

そこで活発な議論を行う為にも現在、商店街関係者のみでなく、会員を大募集しています。ぜひ、砂町銀座商店街の将来あるべき姿について一緒に検討しましょう。

（ご興味のある方は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。）

問い合わせ先

「北砂三・四・五丁目地区まちづくり協議会」事務局

■ 江東区都市整備部地域整備課不燃化推進係

電話：03-3647-9491 FAX：03-3647-9009 Email：tiikiseibi@city.koto.lg.jp

■ UR都市機構 東日本都市再生本部 密集市街地整備部企画課 北砂三・四・五丁目地区担当

電話：03-5323-0676 FAX：03-5323-0354

編集協力 江東区、UR都市機構